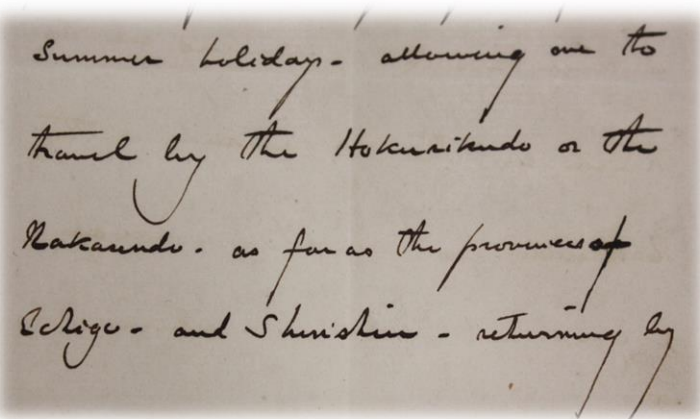


ウィリアム・ガウランドと明治期の古墳研究

明治期のいわゆる「お雇い外国人」の一人であったウィリアム・ガウランドは、大阪に建設された造幣局で冶金の専門技師として勤めながら、100 か所以上にのぼる日本各地の古墳を調査して測量図や写真という形で記録を残し、帰国後に論文としてその成果を発表しました。あわせて、イギリスに持ち帰った考古資料群はロンドンの大英博物館で「ガウランド・コレクション」として収蔵され、一部は常設展示されています。ガウランドの古墳研究は日本の古墳研究の先駆けとして高く評価されており、近年ではコレクションについても一般にその存在が知られるようになりました。明治大学博物館は、2006年に後藤和雄氏（元朝日新聞編集委員）よりガウランドが撮影した明治期の写真（複写）の寄託を受けたことを契機として、関係資料の調査と研究、また展示による一般への公開を行い、日本におけるガウランド研究の拠点となっています。また、日英の研究者で構成された研究グループ・Gowland Project は、大英博物館に所蔵されているコレクションの全容の解明を目指して2010年から細部にわたる調査を進め、2011年には一瀬和夫氏（京都橋大学）をリーダーとして科学研究費（基盤研究B）を得て、過去にガウランドが調査した古墳の再調査を実施しています。その結果、現在の研究視点から分析することで、コレクションの全体像やガウランドの調査や研究の実像など、新たな事実が明らかになってきたのです。

明治大学博物館とGowland Projectが共同で開催する今回の展示は、造幣局などに残された資料からガウランドの足跡をたどるとともに、日本の研究者によるこれまでのガウランド研究のあゆみを振り返ります。そして、芝山古墳・見瀬（橿原）丸山古墳・鹿谷古墳群などガウランドが調査した古墳の再調査や再検討の成果、また日本では直接見ることができない大英博物館所蔵コレクションについて、明治大学博物館が所蔵する明治期に撮影された古墳の写真の数々と、近年のGowland Projectによる詳細なコレクションの実測図面と写真、そして3次元計測によって製作されたレプリカ等から、新たな成果とその実像について紹介します。



ガウランドが造幣局長に宛てた旅券発行の礼状。
“Nakasendo”, “Shinshu”の文字が見える（造幣博物館蔵）



見瀬（橿原）丸山古墳のデジタル計測点群データ（岡本篤志氏作成）

<主な出展資料>

- ・ガウランド寄贈「南蛮焼」（大阪府指定文化財、大阪府教育委員会蔵）
- ・ガウランド造幣局契約書（造幣博物館蔵）
- ・ガウランド在籍時に生産された銅貨（造幣博物館蔵）
- ・飛騨・信濃方面の旅券発行に対する礼状（ガウランド直筆、1877年、造幣博物館蔵）
- ・槍ヶ岳・乗鞍岳等にガウランドが訪れたことを記した文書（高山町会所文書宿泊人届 旅行外人止宿届 高山市教育委員会蔵）
- ・ガウランド・コレクション遺物実測図（大塚初重氏蔵、原資料は大英博物館蔵）
- ・ガウランド・コレクション遺物実測図（池上 悟氏蔵、原資料は大英博物館蔵）
- ・ガウランドが撮影した古墳の写真（後藤和雄氏複写、明治大学博物館蔵。原資料は大英博物館蔵）
- ・大阪府服部川25号墳（二室塚古墳）出土鉄釘（八尾市埋蔵文化財調査センター蔵）
- ・大阪府芝山古墳調査図面（1959年、堀田啓一氏蔵）
- ・芝山古墳出土須恵器・埴輪片（同志社大学歴史資料館蔵）
- ・奈良県見瀬（橿原）丸山古墳石室模型（大阪府立近つ飛鳥博物館蔵）
- ・見瀬（橿原）丸山古墳の再測量調査図およびデジタル測量図（日英共同調査 Gowland project）
- ・京都府鹿谷古墳群の測量調査図（京都橋大学蔵）
- ・ガウランド・コレクションの遺物実測図と写真（日英共同調査 Gowland project、原資料は大英博物館蔵）
- ・ガウランド・コレクションの鹿谷古墳出土馬具レプリカ（岡本篤志氏蔵、原資料は大英博物館蔵）
- ・ガウランドが残した記録類（写真、日英共同調査 Gowland project、原資料は大英博物館蔵）